

# アジェンダ21すいた

第36号

平成27年10月25日発行

「アジェンダ21」とは「21世紀への課題」という意味です。「アジェンダ21すいた」は、市民・事業者・行政が力を合わせて、持続可能な社会の実現を目指すパートナーシップ組織です。

# ニュースレター

## CONTENTS

- 第3回すいたエコウォークを開催します・・・1
- 進めよう、地球温暖化問題プロジェクト・・・2
- 博物館夏期展示に出展しました・・・3
- 夏の公園、夕暮れ自然観察会を開催しました・・・4
- あなたが見つかるエコなお店 in すいた・・・5
- 「CO2ダイエット学校版」に取り組んでいます・・・6
- 神戸バイオガス見学会・・・7
- 各種募集・イベント案内・・・8

フラッグシッププロジェクト 歩きたくなるまちづくり

## 第3回すいたエコウォーク

## “謎を探してウォーキング”を開催します！

### ★“謎を探してウォーキング”予告編

アジェンダ21すいたのフラッグシッププロジェクト「歩きたくなるまちづくり」にちなんだイベント「すいたエコウォーク」を11月14日（土）に開催します。

3回目を迎えた今回は、大阪学院大学の学生さんが実行委員として企画段階から加わってくれ、若いやわらかい感性によるプログラムができつつあります。

見どころの一部をご紹介します。スタート地点はJR岸辺駅北側広場です。5つのクイズポイントでは、謎ときのヒントが隠されており、5つ全部回ると正解が導かれるようになっています。また、コンビニマイボトルを持参すると10円引きでコーヒーが買える「マイボトル体験」など、4箇所のエコポイントでスタンプを集めて大阪学院大学にゴールします。ゴール地点では、ワークショップにより、まとめをします。健康的なウォーキングをして、歴史とエコな知識も増え、エコしてお得、参加賞や豪華景品が当たってお得な第3回すいたエコウォークにぜひ、参加してください。（幹事会）

### 開催概要

日時：平成27年11月14日（土） 9:00～13:00

場所：スタート（集合場所）/ JR岸辺駅北口 ゴール/ 大阪学院大学

参加費：無料 定員：先着100名（小学生以下は保護者同伴）

服装：歩きやすい服装・靴

お問い合わせ/ お申し込み先 申込期間10月1日～10月31日

アジェンダすいた21事務局（吹田市環境部環境政策室）

住所：〒564-8550 吹田市泉町1-3-40

TEL：(06) 6384-1782 FAX：(06) 6368-9900

Email：env-keikaku@city.suita.osaka.jp

※住所、氏名、電話番号を電話かFAXまたはEメールでアジェン

ダ21すいた事務局（吹田市環境部環境政策室）へ連絡してください。



# 平成27年度新規プロジェクト

## 進めよう、地球温暖化問題プロジェクト！

平成27年7月11日に開催された定時総会において、地球温暖化問題を考える新たなプロジェクトとして「（仮称）地球温暖化問題プロジェクトの検討」事業が承認されました。

このプロジェクトは市内の多くの人に、直面する地球温暖化問題を知っていただき、それぞれのスタンスで、できることに取組んでいただくきっかけとなるイベントの開催やしきみを作ることを目指します。現在、幹事会の中で検討を始めているところですが、その内容の一部を紹介します。

「プロジェクトに参加したい」「こんな取組みをしてほしい」などのご意見等がありましたら、アジェンダ21すいた事務局（吹田市環境政策室）まで、ぜひお寄せください。

### ★現状

環境省がライトダウンキャンペーンを実施し、その一環として大阪府や吹田市がライトダウンキャンペーンを呼びかけ実施しています。しかし、このような取組だけでは、吹田地域全体に広げるには不十分であり、吹田市民や吹田の企業にはほとんど知られていないのが現状です。

また、キャンドルナイトも様々な形で全国で行われていますが、温暖化を意識しての取組みは少ないのではないのでしょうか。

### ★アジェンダ21すいたの取組み(案)

環境省が推奨するライトダウンキャンペーンの市域版として、全市で地球温暖化問題を考える1日を設定し、一斉に温暖化防止行動を各自・各団体が自己宣言するとともに、その内容を登録し公表します。

市内NPOが企画するキャンドルナイトや、吹田市や大阪府が行うライトダウンキャンペーンとも連携し、登録した市民や事業者、企業は、それぞれ連携もしながら、一大イベントに発展するよう検討を進めます。

具体的な自己宣言の内容

- ・電灯・ネオンなどの消灯、クーラーの温度管理、徒歩・自転車の活用など。
- ・音楽祭や婚活などと併せることで楽しいおまつり的なイベントを行う。

### (参考) (環境省) ライトダウンキャンペーンのホームページ

#### ライトダウンする夜は、みんなが地球を想う夜

環境省では、地球温暖化防止のため、6月22日から7月7日までの間、「CO2削減／ライトダウンキャンペーン」を実施するとともに、6月22日（夏至の日）と7月7日（クールアース・デー）両日の夜8時から10時までの2時間を特別実施日として設定し、全国のライトアップ施設や各家庭の照明の一斉消灯を呼び掛けます。

<http://funtoshare.env.go.jp/coolearthday/#ced>

#### (参考) 1000000人のキャンドルナイト@OSAKA CITY

夏至と冬至の夜2時間、でんきを消してろうそくを灯し「ためいきのようなひととき」を「持続可能な社会」もふまえた新しいライフスタイルを提案する、優しさのムーブメント。

<http://candle-night-osaka.jp/about/>

(幹事会)

# 博物館夏期展示に出展しました！ 報告

## 廃油からキャンドル作り

(資源部会・エネルギー部会)

吹田市立博物館の夏季展示「まもる自然・つくる環境—こんなのみつけたよ—」のイベントとして8月15日(土)、親子31組の参加で行いました。

ガラスコップに思い思いの絵付けをし、キャンドルの色付けはクレヨンでします。参加者から持参してもらった廃油を温め、凝固剤を加えてコップに入れ、芯を固定したらハッカ油で香りをつけて固まるまで待ちます。

廃油の処理はどうしていますか、と聞くと、可燃ごみに捨てている家庭が多くありました。廃油も資源なので、市内の公共施設10か所で廃油の回収をしていて、石鹼やペンキの材料に有効利用できることをお話ししました。

また、たまには照明を消して、キャンドルの明かりで食事するのも情緒があって省エネになることもお伝えしました。

カッターでクレヨンを削るのに手間取っている子どももいましたが、皆がオリジナルのキャンドルを作ることができました。おうちで火を灯してきっと役に立っていると思います。



絵付けをした3色のキャンドル



真剣に作業をしています

## ポタジェガーデンを作りました。

(自然部会)



フランスでは野菜やハーブ、花を混植して実用と鑑賞の両方を楽しむ庭をポタジェ(Potager)と呼ぶそうです。

野菜だけをつくる“家庭菜園”と違い、野菜や花、ハーブや果樹を組み合わせた“混植菜園”とでもいえるのでしょうか。色々な植物を混植することにより、そこに生息する生き物の種類が増え、病害虫の被害が少なくなる効果も期待できるようです。

博物館のポタジェガーデンは、1.8メートル×1.2メートルほどのスペースにカモミール、フェンネル、セージ、ミント類、タイム類、ワイルドストロベリー、チコリ、レモングラス、チャイブなどのハーブ。スイスチャード、ナス、キュウリ、トマトなどの野菜。エリゲロン、トケイソウ、マリーゴールドなどのお花など、色々な植物を混植しました。狭いスペースですが、しっかりと土壌改良をしたため、ハーブにも花が咲き、野菜の収穫もできました。

食の安全の意識の高まりなどから、家庭菜園を始める方が増えているようです。吹田のような街中の限られたスペースで、美しい花を楽しみながら新鮮な野菜をつくる、という家庭菜園の一つの参考に、ポタジェガーデンがなれば幸いです。

(自然部会 寺西)



# 報告

## 「夏の公園、夕暮れの自然観察会」を開催しました！（自然部会）

京都光華女子大学菅井啓之教授をお招きして、いつもの明るい昼の観察会ではなく夏の終わりの9月5日（土）、夕暮れ時の千里北公園での自然観察会を企画しました。

阪急北千里駅に集合して夕方5時半に歩き始め、街路樹に付いた地衣類や毒キノコの説明等、軽妙で解りやすい菅井先生の語り口に引きずり込まれながら千里北公園に到着。

6時には至らず周囲はまだ明るい中で、「木の葉も夜は寝るんやで、知ってるかな？花も、タンポポなんかは寝るよ」と先生が教えてくれました。

この日の参加者はスタッフも含めて25名、そのうち子供さんが5人いましたが、とても楽しそうに先生のお話しに聞き入っていました。

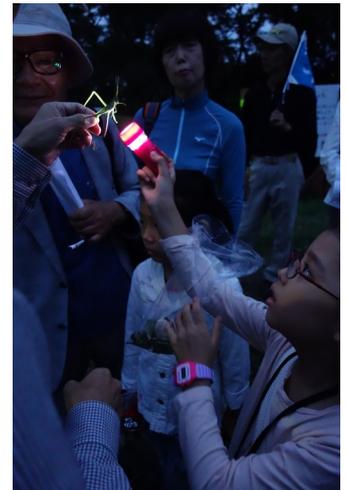


6時頃になり、先生が「木の葉を見てごらん」・・・と、葉の色が、鮮やかな緑が消えて黒っぽくなっています。もっと時間がたてば真っ黒になって何も見えなくなるそうです。

また、辺りはまだ明るかったのですが、葛の葉が下を向いて寝ていました。子供たちが「ほんまや!!!」と大歓声をあげていました。

そして、誰かがバッタを捕まえました。ショウリョウバッタでした。先生が「このバッタの耳はどこでしょうか？」子供たちは捜しましたが、誰も解りませんでした。ショウリョウバッタの耳は羽根の付け根にあります。またまた、子供たちの大歓声が起こりました。

先生が「虫が鳴いていますよ。聞こえますか？」・・・私たちには蝉の声しか聞こえません。夏の終わりの夕暮れ時、この時間はツクツクボウシとアオマツムシの交代時間だそうです。鳴く虫はコウロギの仲間とキリギリスの仲間ですが、コウロギは草むらの中など地面にいて、キリギリスは草の上や木の葉の上にあります。キリギリスの触角は長く、コウロギは短い、これは、住む場所の状況による違いだそうです。また、コウロギの種類でも、カネタタキやアオマツムシのように木の上に住むものもいます。



すっかり暗くなり、木の葉も草も何も見えなくなった漆黒の林の中で、しゃがみ込んで耳を研ぎ澄ませると虫の声が聞こえるようになってきました。先生が、夜の林や草原の中は静かではなく喧しいのだと云われていましたが、本当に最後は喧しく感じました。エンマコウロギ、ツズレサヤコウロギ、アオマツムシ、カネタタキなど、いくつかの虫の音は、私にも聞き分けることができました。

木立や草むらから明るい道路に出て振り返ると、別世界にいたような不思議な感覚がしました。学問的な事よりも、もっと大切な命に触れられた観察会だったと思います。安全や、準備が必要ですが、また企画してみようと思いました。

（自然部会 伊藤）



## 連載企画！あなたが見つかるエコなお店 in すいた（資源部会）

ユニクロ江坂オッツ店（吹田市豊津町14-8 電話 06-6310-7957）

ユニクロは吹田市内には、江坂、吹田、山田の3店があります。いずれのお店にも入口付近に回収BOXが置かれ、ユニクロとジーユーで販売する全商品（洗濯してあるものならインナー、靴下なども）を、いつでも誰でも、ここへ入れることができます。



### 全商品リサイクル活動

CSR（企業の社会的責任）活動の一環として、「全商品リサイクル活動」は始まりました。「服」は「服」のまま役立てたいと、必要な人々に、ニーズを満たす服を届けています。

回収した衣料は、「まだ着られる服」と「もう着られない服」に分別されます。

90%がUNHCR（国連難民高等弁務官事務所）や国際NGOを通じて難民・避難民や、妊産婦、乳幼児などにリユースされます。また、残り10%は工業用繊維などにリサイクルされます。

2015年2月末までの活動実績は、14の国や地域で回収した累計回収点数3,530万点、これまでに56の国や地域に1,438万点を寄贈して来ました。

### 難民支援プロジェクト「1000万着のHELP」を実施

UNHCRによると、2014年末時点の世界の難民・避難民は5951万人以上にのぼると言われています。全商品リサイクル活動を2006年から取り組んで来て、10年目の節目を迎えるに当たり、ますます増え続ける難民・避難民のため、2015年10月から1000万着の衣料の回収・寄贈を強化していく方針だそうです。

### 服は使い捨てるものではありません

不要なユニクロの服を捨ててしまえば「ただのごみ」ですが、お店の回収BOXへ持って行くだけで、あなたと世界のどこかの誰かをつなぎ、たちまち「社会貢献」を果たすのです。

### 瀬戸内オリーブ基金

ユニクロは瀬戸内の美しい自然を守り再生することを目的に活動をしている瀬戸内オリーブ基金と、継続的な協働をしています。2001年に開始した日本国内の店舗での募金活動と、従業員による環境整備のボランティア活動を通じ、オリーブ基金への支援活動を行っています。



現在は、有害産業廃棄物の不法投棄事件「豊島事件」で破壊されてしまった豊島の国立公園をふさわしい姿へ原状回復し、豊かな島と海を次の世代へ引き継ぐために「豊島・ゆたかなふるさとプロジェクト」の取り組みを始めています。

<http://www.uniqlo.com/jp/csr/environment/olive/>

（資源部会 水川）

# 報告

## CO2ダイエット学校版に取り組んでいます。

(幹事会・エネルギー一部会)

### すいたんのエコライフチェック

現在、一般市民の皆様には暮らしのCO2ダイエットに取り組んで頂いています。

これは、日常生活で無理なく楽しみながら、省エネ行動を実践し、家庭で使用したエネルギーの使用量を記録して、家庭からどの位のCO2が排出されているかをチェックする取組です。(電気、ガス、水道、ガソリン)

CO2ダイエット学校版とは、この行動を小学生の児童にも行ってもらう省エネ活動です。

他の自治体では、既に多くのところが行っています。



吹田市では、アジェンダ21すいたの事業として、学校と(公財)千里リサイクルプラザの協力を得て「すいたんのエコライフチェック」を作成し、吹田第一小学校6年生(2クラス)、豊津第二小学校6年生(3クラス)、千里丘北小学校4~6年生(合同)で実施しました。

この「すいたんのエコライフチェック」を使った事前勉強を、7月14日(火)、千里丘北小学校で2時限を使って出前授業という形態で行いました。

講師は(公財)千里リサイクルプラザの山中さんとアジェンダ21すいた代表の三輪さんが行いました。

対象の児童は、省エネの内容を一生懸命聞いていました。

低学年の方が興味があったのか、活発に意見を述べていたような気がします。この熱意が成果につながるように期待します。

この小学校は新設なので、まだ児童数は少ないですが、将来を見込んで立派な教室、設備が作られていました。

特にプールの設備には感心しましたが、残念なことに運動場が少し狭いようです。(エネルギー部会 福井)



※CO2ダイエット学校版の冊子は、今後改善を加えていき、小学生の児童皆様に分かりやすく、使いやすい物にしていき、全校に普及していくように努めていきます。

## 神戸市建設局東水環境センターの東灘処理場に行ってきました。 (エネルギー部会)

### 循環型エネルギーこうべバイオガス見学会

9月24日、バイオガスの仕組みや活用方法を知るため、神戸市建設局東水環境センターの東灘処理場に行きました。

バイオガスを自動車燃料や都市ガスとして使用し、CO<sub>2</sub>を削減しています。

約1時間スライドを見ながら、下水処理過程で発生するガスを精製して天然ガス燃料にする取り組みについて伺いました。

その後の施設の見学で、まず最初に汚水の最初沈殿池へ行ったところ、汚水独特の臭いがありました。

次の槽では、空気を吹き込むことにより微生物を活性化させ、汚水を分解していき、最終沈殿池では臭いはほとんどなくなっていました。6種類もの主役の微生物の働きには、驚かされました。

この段階での水は次亜塩素ソーダで処理され、施設内の散水やトイレの排水に利用されています。

沈殿池の底に残った汚泥は卵型の1基1万立方メートルのタンク3基に入れられ、40℃で30日間中温消化、攪拌され、最終精製されたガスはメタン98%となり、市バスや宅配車へ供給されています。

当日も、バイオガスステーションでトラックへのガス注入も間近で見ることができました。

バイオガスは、現在、都市ガス導管へ送り、家庭や工場にも供給されています。2020年までには、一般家庭3000世帯が1年に使用するのを目標にしています。

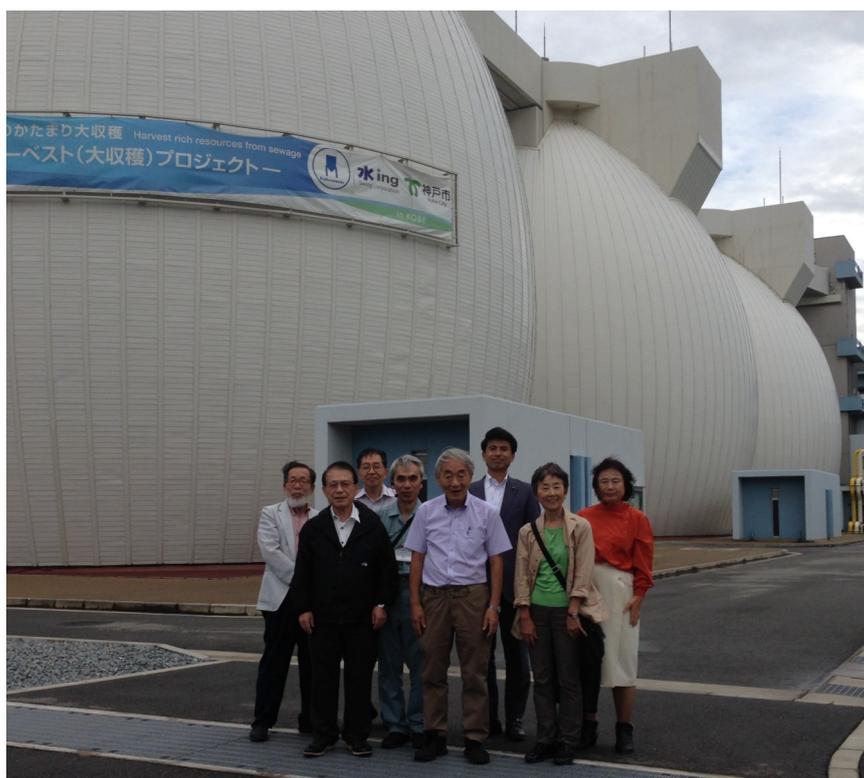
処理中にできる脱水ケーキは焼却し、埋め立て処分にしますが、その過程でできるMAP(リン酸マグネシウムアンモニウム)からリンを取り出し、肥料にしています。

このリンが商売になれば、経費も出てきて、こうべバイオマスを大きく発展させることができると期待されています。

まさにエネルギーの地産地消として、水とともに下水道もエネルギーの源になる事を実感した1日でした。

※神戸市人口約154万人で、下水道普及率は98.7%、東灘処理場では38万人分の汚水処理を行っています。

(エネルギー部会 奥田)



# 各種募集・イベント案内

## すいた環境教育フェスタ

人間と環境とのかかわりについて理解と認識を深め、地域環境や地球環境の保全活動に積極的に参加するなどの態度や、実践的な能力を育てるため、市民、事業者、学校、行政などの協力関係を深め、環境保全活動を推進していく参加型事業「すいた環境教育フェスタ」。クイズラリー、パネル展示、リユース図書の配布、工作など、大人も子どもも楽しめる催しがたくさん出展されます。

アジェンダ21すいたのブースでは「すいたエコウォーク」（11/14開催 P1参照）の報告や、各部会の取組報告を行います。みなさん、ぜひお越しください。

- ◆日時／平成28年2月11日（祝）10時～15時30分
- ◆会場／メイシアター（吹田市文化会館）
- ◆その他／入場無料
- ◆主催／すいた環境教育フェスタ実行委員会
- ◆問合せ／すいた環境教育フェスタ実行委員会事務局（吹田市環境部環境政策室内）  
TEL：06-6384-1702



## 万博ごみゼロウォーク

万博公園外周を、楽しくウォーキングしながらごみを拾います。リサイクル自転車やバーナー工芸品等が当たる抽選会もあります！みなさん、ふるって参加ください。

- ◆日時／平成27年11月7日（土）9時15分～12時（受付：8時45分～）
- ◆集合場所／資源リサイクルセンター（くるくるプラザ）4階広場
- ◆主催／万博ごみゼロウォーク実行委員会
- ◆問合せ／（公財）千里リサイクルプラザ TEL：06-6384-1702 FAX：06-6876-0530

## アジェンダ21すいたニュースレターへの掲載記事を募集！

本ニュースレターに掲載する記事を募集しています。各部会や会員の環境活動に関わる報告・紹介などの記事を提供していただける方は、アジェンダ21すいた事務局までお知らせ下さい。

また、各種募集、イベントなどの情報もお待ちしております。次回のニュースレターは、平成28年1月の発行を予定しています。

- 問い合わせ アジェンダ21すいた事務局（吹田市役所環境政策室内）まで

## ホームページで、イベント情報や活動スケジュールなどをお知らせしています。

アジェンダ21すいたのホームページでは、イベント情報や活動スケジュール、環境講座データベース「レインボーすいた」などの情報を掲載しています。ぜひ、ご覧ください。

ホームページ <http://www.ag21suita.org/>

### アジェンダ21すいた入会のご案内

持続可能な社会をめざして、一緒に活動しましょう！

【会費】

- ◆正会員 個人1,000円／年 団体5,000円／年
- ◆賛助会員 1口1,000円／年
- ◆準会員 無料

【会員特典】

ニュースレター・各種案内資料の送付  
部会活動への参加、主催行事への参加など

### アジェンダ21すいたニュースレター

第36号（平成27年10月25日発行）

発行：アジェンダ21すいた事務局

〒564-8550 吹田市泉町1-3-40

吹田市環境部環境政策室

TEL：06-6384-1782

FAX：06-6368-9900

E-mail：env-keikaku@city.suita.osaka.jp

企画・編集：アジェンダ21すいた『エコセン』